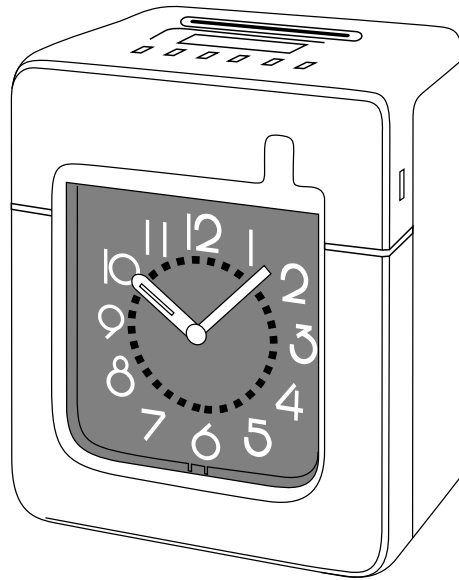


クォーツ・タイムレコーダ

QR-550

取扱説明書



SEIKO

はじめに

このたびは、タイムレコーダQR-550をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。QR-550を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を、必ずお読みください。またお読みになった後は、いつでもお使いいただけるように大切に保管してください。

1. 本書の内容につきましては、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
2. 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、万一お気づきの点、ご不明の点などがありましたら、ご購入の販売店までお問い合わせください。
3. 運用に際しましては、本書の内容を十分に理解いただいた上でご活用ください。
4. お客様が本機を運用された結果の影響につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。
5. 本書の内容の一部あるいは全部を、無断で複製することは禁止されております。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

目次



1.安全に正しくお使いいただくために	1
2.特長	3
3.ご使用になる前に	4
付属品をお確かめください	4
各部の名称	4
タイムレコーダ内部のパッドを外してください	5
壁掛けの方法	6
設置について	6
4.日常の操作	7
5.設定のしかた	8
設定の準備	8
締日の設定	9
日付と時刻の設定	10
改行時刻の設定	11
サマータイムの設定	12
週間プログラムの設定	15
リセットについて	21
6.こんなときには	22
エラー番号が表示されたら	22
故障かなと思ったら	22
7.リボンの交換	23
8.仕様一覧	25
9.別売付属品および消耗品	26






1.安全に正しくお使いいただくために







本書は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、守っていただきたい事項を示しています。



絵表示について

本製品の取扱説明書及び製品への表示では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電する「危険」があることを示します。	 この表示は、必ず実行していただきたい内容を示しています。
 この表示は、分解してはいけないという、「禁止」を示しています。	 この表示は、必ず電源プラグをコンセントから抜いていただきたいことを示しています。
 この表示は、してはいけない、「禁止」行為であることを示します。	

 警告	
 この機器を分解しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。	
 この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。	
 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。	
 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。	
 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。	

	万一、異物(金属片、水、液体など)が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

注意

	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	この機器の上に水などの入った容器または金属物をおかないでください。 こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多い場所には置かないでください。 火災、感電の原因となることがあります。
	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。 火災、感電の原因となることがあります。
	プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。 (必ずプラグを持って抜いてください) コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
	本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
	プリンターのヘッド部分には、触れないよう、ご注意ください。 けが、火傷の原因となることがあります。
	電源プラグは奥まで確実に挿入してください。 火災、感電の原因となることがあります。
	タイムカードの挿入口には指定のタイムカード以外は差し込んだり、落としたりしないでください。 火災、感電の原因となることがあります。
	万一、この機器を落としたり、ケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

日頃のお手入れについて

ケースが汚れたときは電源プラグをコンセントから抜き、ほこりや汚れを乾いた布などで掃除してください。

2. 特長

◆コンセントにさしこむだけでOK!

年・月・日・時刻・締日はセット済み。電源ONするだけですぐ使えます。
(月末締め以外の時も簡単にセットできます。)

◆停電しても大丈夫

停電や不意にコンセントが外れた時でも安心です。メモリー保持機能により通電すればまた直ちにお使いになれます。

◆使いやすい機能を満載

万年カレンダー内蔵だから、月末調整はいりません。タイムカードの表裏判別また、カードの引き込みも自動です。
インクリボンの交換も簡単。カセット式だから手も汚れません。

◆印字機能も実力派

タイムカードへの印字は、1日6欄打刻。日付と時刻を印字します。

◆洗練された落ち着いたデザイン

実用タイプながらオシャレなツートンカラー。オフィス、お店、ワークルームなどどこにでもピッタリ。

◆見やすい大型アナログ時計表示

大型のアナログ時計と液晶デジタル表示で、年・月・日・時刻がひとめでわかります。アナログ時計は面倒な針合わせ不要の高速自動セットです。

◆赤黒2色印字

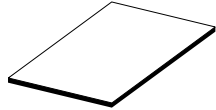
遅刻、早退や休日出勤を色分けできる便利な赤黒2色印字を装備。
ひとめで出退勤を確認できます。

◆曜日ごとにプログラム設定が可能

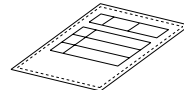
赤黒2色印字や印字欄(1~6欄の任意の欄)を曜日と時間帯ごとに自動切替できます。
使い勝手を考えた便利な機能です。

3. ご使用になる前に

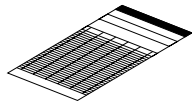
付属品をお確かめください



取扱説明書(本書)



保証書



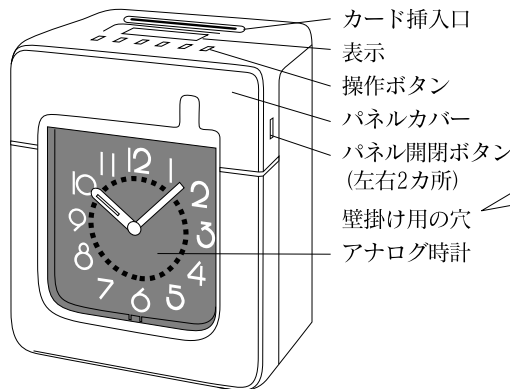
タイムカード(SEIKO Cカード) 1枚



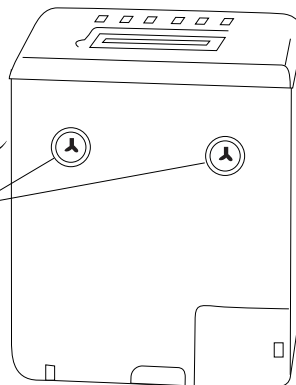
壁掛け取り付けネジ2本

各部の名称

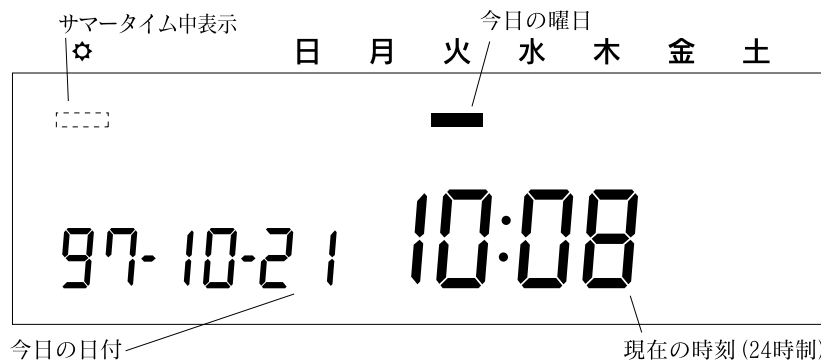
<本体正面>



<本体背面>



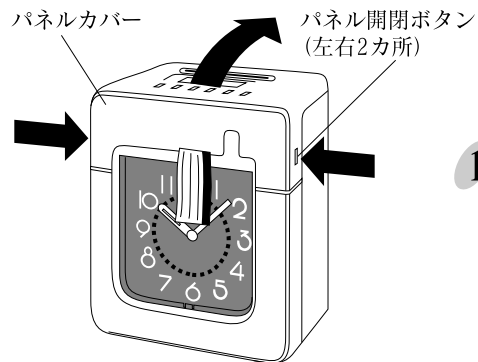
表示



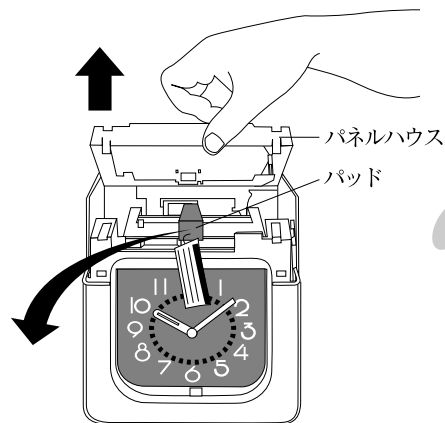
タイムレコーダ内部のパッドを外してください。

タイムレコーダ内部には、輸送時の振動などから製品を保護するためのパッドが入っています。

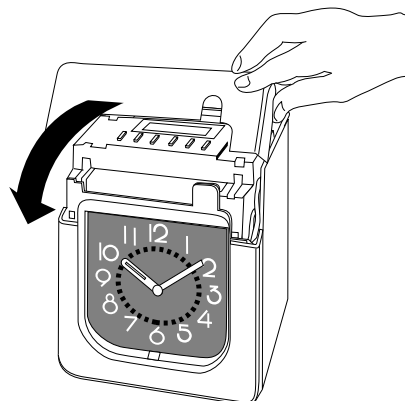
! ご使用時、パッドは不要なので、タイムレコーダ内部から抜いてください。



- 1 パネル開閉ボタンを左右2カ所押しながらパネルカバーを奥側へ持ち上げて外してください。



- 2 パネルハウスを奥側へ持ち上げパッドを抜いてください。



- 3 パネルハウスを元に戻してパネルカバーを奥側のフックに引っかけながら手前側におろして閉めてください。

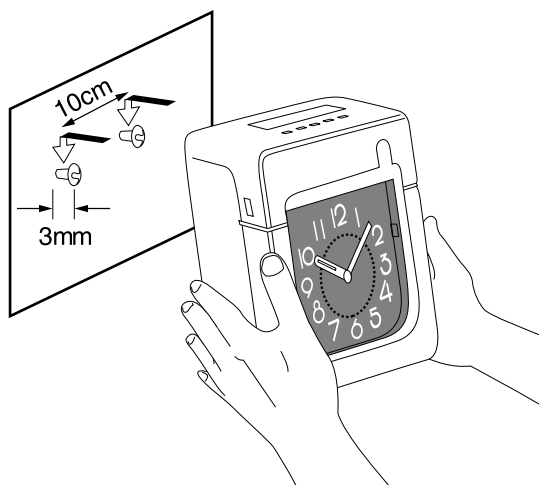
壁掛けの方法

付属のネジを使って、タイムレコーダを壁に掛けることができます。壁に掛けて使用する場合には、次のようにしてください。

- 1 付属の壁掛け取り付けネジ2本を、横10cmの間隔で壁に取り付けます。このときネジの頭を3mmほど出して、取り付けてください。
- 2 ネジにタイムレコーダの上の穴を引っかけます。



同梱されているネジは木造の厚い壁や木の柱でご使用されることを前提としており、それ以外の条件の場所ではご使用にならないようにしてください。タイムレコーダが落下してお客様がケガをされたり、また本体の故障の原因となるおそれがあります。



設置について

次のような場所でのご使用は避けてください。

- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光のあたる場所
- 振動の激しい場所または常時振動が発生する場所
- 気温が -5°C 以下や、 45°C 以上の場所
- 化学薬品やオゾンなどの影響をうける場所

4. 日常の操作

時刻や縮日などタイムレコーダが動作するために必要な事柄は、あらかじめ設定してありますので**電源を入れてすぐお使いいただけます。**

！ 前述の「3.ご使用になる前に」を必ずお読みください。

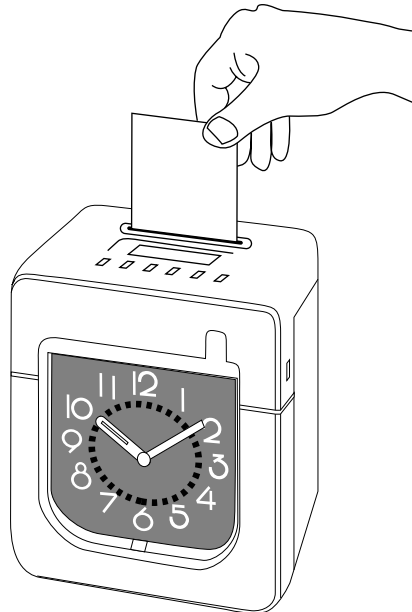
タイムレコーダの使い方はきわめて簡単です。タイムカードを挿入していただきますと、カードは本体に自動引込みされ、印字後排出されます。

！ カード挿入口にクリップ等の金属は絶対に入れないでください。また、カードを無理に押し込まないでください。故障の原因となる恐れがあります。

そのままの状態ですぐにお使いいただけますが、縮日などが実際にご使用いただく場合と異なるときには、後述の「5.設定のしかた」をご参照ください。

このタイムレコーダは、週間プログラムを設定しない場合には印字位置が1欄目で、かつ黒印字となります。印字欄及び印字色の設定は週間プログラムで行います。印字欄の変更は手動でも行うことができます。この場合は任意の欄の操作ボタンを押してからカードをタイムレコーダに入れてください。

印字される欄は操作ボタンが点灯している欄です。

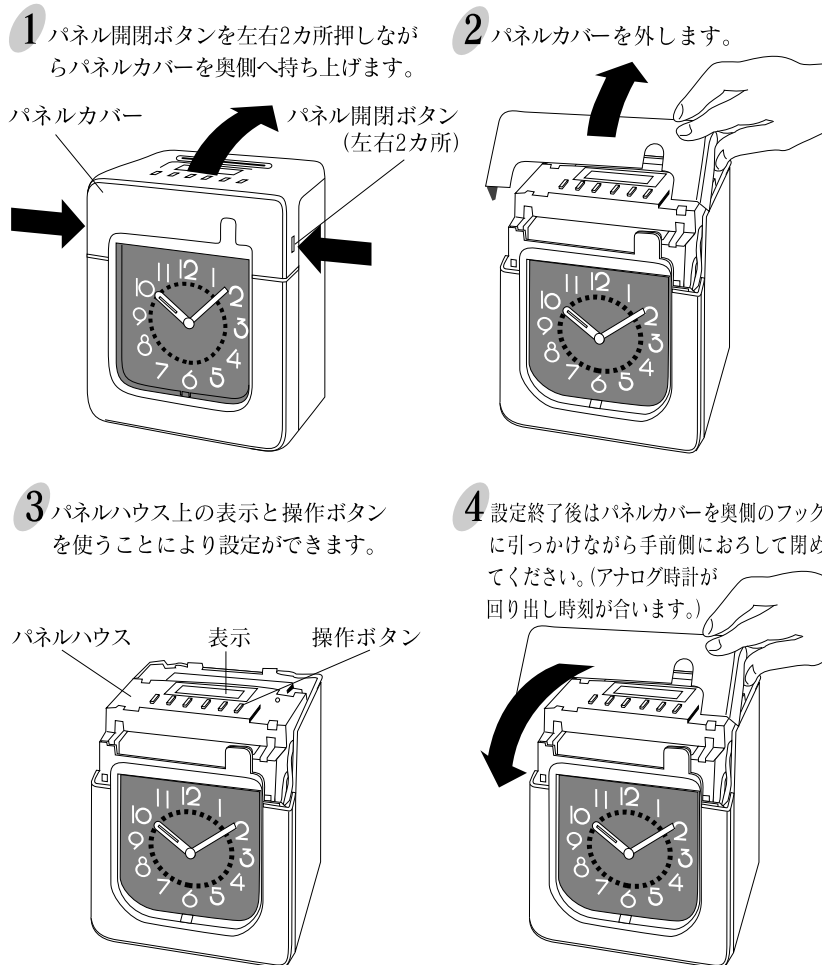


5. 設定のしかた

設定の準備

締日や時刻など設定する前に、パネルカバーを外して設定できる状態にします。

! 設定する時は電源を入れた状態で行ってください。

- 1 パネル開閉ボタンを左右2カ所押しながらパネルカバーを奥側へ持ち上げます。
 - 2 パネルカバーを外します。
 - 3 パネルハウス上の表示と操作ボタンを使うことにより設定ができます。
 - 4 設定終了後はパネルカバーを奥側のフックに引っかけながら手前側におろして閉めてください。(アナログ時計が回り出し時刻が合います。)
- 

パネルカバーを開けることにより、自動的に選択ボタンが点灯し、設定モードとなります。

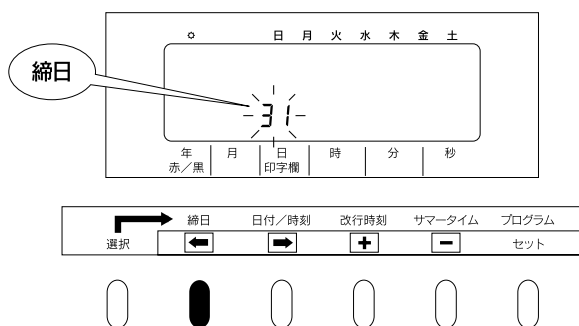
締日や時刻など、それぞれの設定終了時には必ず**セットボタン**を押してください。セットボタンを押し忘れた場合は、設定した内容が記憶されません。

締日の設定

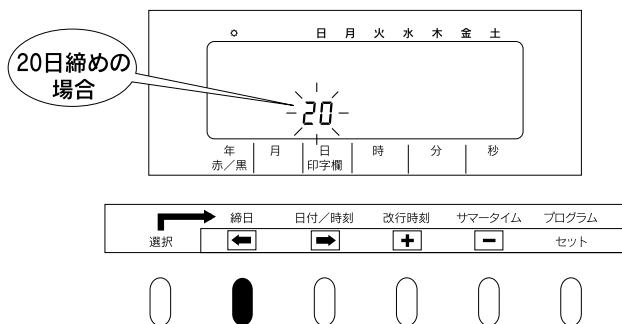
工場出荷時の設定は月末締めになっています。締日が月末と15日以外の場合は締日を変更します。

大の月、小の月によらず月末締めの場合は締日「31日」のままご利用いただけます。

- 1 パネルカバーを取り外します。選択ボタンを1回押して左から2つ目の締日ボタンを点灯させてください。



- 2 **+** ボタンあるいは **-** ボタンを押して目的の締日に合わせてください。
+ ボタンを押すと数字が増え、逆に **-** ボタンを押すと数字が減ります。
例: 20日締めのときは、表示の数字を「20」にします。



- 3 表示が希望どおりの締日であることを確認してから、**セット** ボタンを押してください。これで締日の設定は終了です。

15日締めでタイムカードC-31をご使用の場合は締日を31に設定して赤面よりご利用ください。

日付と時刻の設定

日付あるいは時刻を変更するときに設定してください。

- 1 選択ボタンを押して左から3つ目の日付/時刻ボタンを点灯させてください。日付(年月日)が表示の左側に、時刻(時分秒)が右側に表示されます。
点滅している数字が変更できます。



- 2 日付の設定
◀ ボタンあるいは▶ ボタンを押して、変更したいところに点滅を移動させ
+ ボタンあるいは- ボタンで数字を変更します。
例: 1997年10月21日のときは97-10-21に設定します。

- 3 時刻の設定
◀ ボタンあるいは▶ ボタンで変更したいところに点滅を移動させ + あ
るいは- ボタンで数字を変更します。
時刻は24時制です。
例: 午後3時10分のときは15:10:00 (24時制) に設定します。

- 4 表示が希望どおりの日付と時刻であることを確認してから **セット** ボタンを押してく
ださい。これで日付と時刻の設定は終了です。

改行時刻の設定

工場出荷時の設定は午前5時(05:00)になっています。

「改行時刻」とは、タイムカードの印字の段が切り替わる時刻のことです。夜勤などで午前0時を過ぎ日付が翌日が変わってから退勤する場合でも「改行時刻」を設定することにより出勤、退勤の印字をカードの同じ段に打たせることができます。

例えば、夜勤をする人がある月の24日午後10時(22時)に出勤し翌日の25日午前6時に退勤する場合は、「改行時刻」を午前6時以降に設定しておけば出勤、退勤が同じ段となります。以下にこの人を例に印字結果を示します。

- 「改行時刻」が工場出荷時設定の午前5時で、午前6時に退勤する場合
(「改行時刻」が退勤時刻より前の場合)

出勤、退勤で印字段が変わってしまう

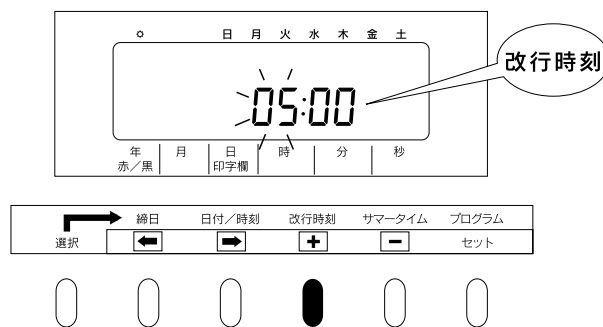
○	22:00						
○	06:00						

- 「改行時刻」を午前7時(07:00)と設定し、午前6時に退勤する場合
(「改行時刻」が退勤時刻より後に設定した場合)

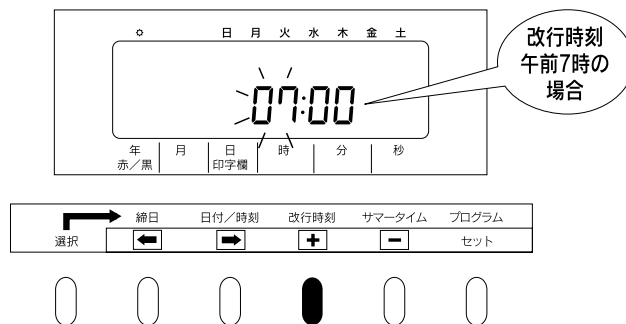
出勤、退勤共に同じ印字段となる

○	22:00	○	06:00				

- 1 選択 ボタンを押して、左から4つ目の改行時刻ボタンを点灯させてください。



- 2 ◀あるいは▶ボタンを押して「時」「分」の変更したいところに点滅を移動させ、+あるいは-ボタンで数字を変更します。
例:午前7時00分が改行時刻のときは07:00(24時制)に設定します。



- 3 表示が希望どおりの改行時刻であることを確認してから、**セット**ボタンを押してください。これで改行時刻の設定は終了です。

サマータイムの設定

日本国内でサマータイムが導入されたときに設定してください。

タイムレコーダのサマータイム機能について

1 サマータイムの実行時間

サマータイム開始日の午前2時になると自動的に時刻が1時間進み午前3時となり、サマータイム終了日の午前3時になると自動的に時刻が1時間戻り午前2時となるようになっています。

2 サマータイムの実行日

例えば

開始日 1998年3月29日(日曜日)

終了日 1998年10月25日(日曜日)

と設定した場合、タイムレコーダは開始日を3月の最後の日曜日、終了日を10月の最後の日曜日と記憶します。一度設定していただければ翌年からのサマータイムの設定はタイムレコーダが自動的に

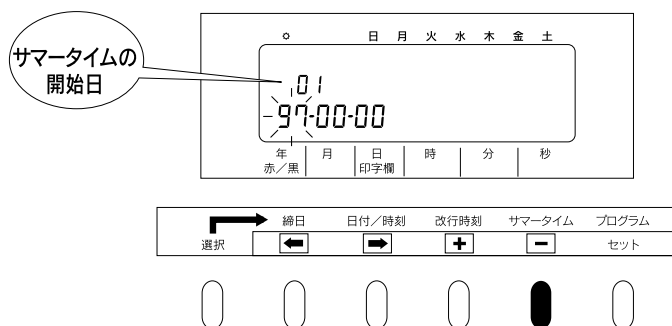
開始日 3月の最後の日曜日

終了日 10月の最後の日曜日

と更新しますので、その後の設定は不要です。

工場出荷時は、サマータイム開始日、終了日の設定がされていません。
(00月00日表示)

- 1 選択ボタンを押して、左から5つ目のサマータイムボタンを点灯させてください。



- 2 サマータイム開始日の設定

開始日の設定中は表示の左上が「01」となっています。

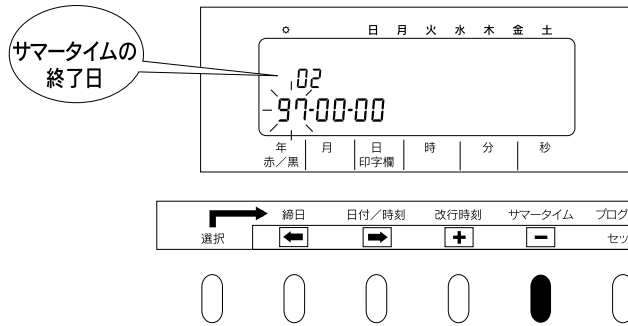
- (1) ◀あるいは▶ボタンを押して「年」「月」「日」の変更したいところに点滅を移動させ、+あるいは-ボタンで数字を変更します。
例: 開始日 1998年3月29日のときは98-03-29に設定します。



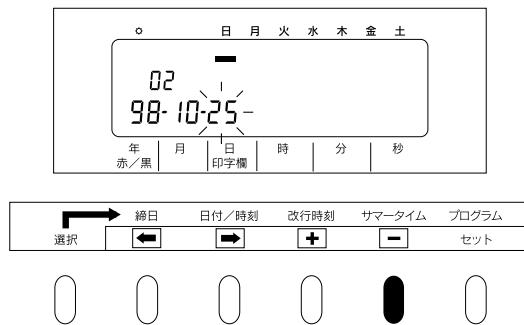
- (2) 表示が希望どおりの開始日であることを確認してから**セット**ボタンを押してください。これでサマータイム開始日が設定されました。

3 サマータイム終了日の設定

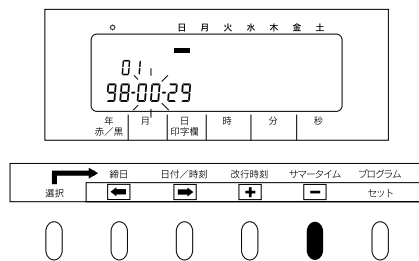
開始日が設定されると表示の左上が自動的に「02」となり、終了日の設定が可能となります。



- (1) 開始日の設定と同じように **←** あるいは **→** ボタンを押して「年」「月」「日」の変更したいところに点滅を移動させ **+** あるいは **-** ボタンで数字を変更します。
例: 終了日 1998年10月25日のときは98-10-25に設定します。



- (2) 表示が希望どおりの終了日であることを確認してから **セット** ボタンを押してください。これでサマータイムの設定は終了です。



一度設定されたサマータイムを取り消す場合
開始日の設定(表示の左上を「01」)状態にして年月日の「月」の表示を「00」として **セット** ボタンを押すとサマータイムは無効になります。

週間プログラムの設定

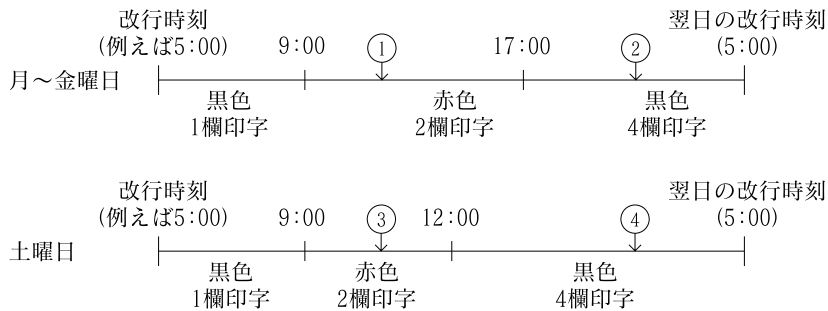
週間プログラムとは、曜日や時間帯ごとに遅刻などを赤印字させたり、出勤・退勤などの印字をタイムカード横方向のどの位置（印字欄）にするかあらかじめセットしておくための設定プログラムのことをいいます。

よって週間プログラムを設定することにより、**黒／赤の印字色**や**印字欄**を曜日と時間帯ごとに**自動切替**することができます。

工場出荷時には週間プログラムは設定されていません。
(黒印字で1欄目に打つようになっています)

==== 次の例で週間プログラムを説明します。 =====

タイムレコーダでの1日は、タイムカード縦方向の印字する位置（印字段）が切り替わる「改行時刻」から始まります。
「改行時刻」の詳細は“改行時刻の設定”のページを参照ください。



この例のプログラム表を作成してみます。

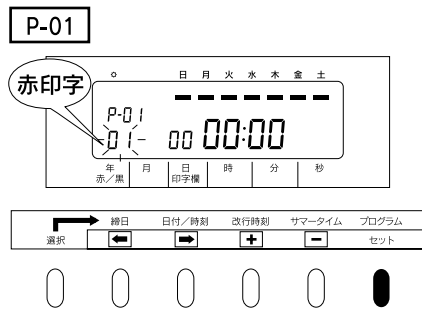
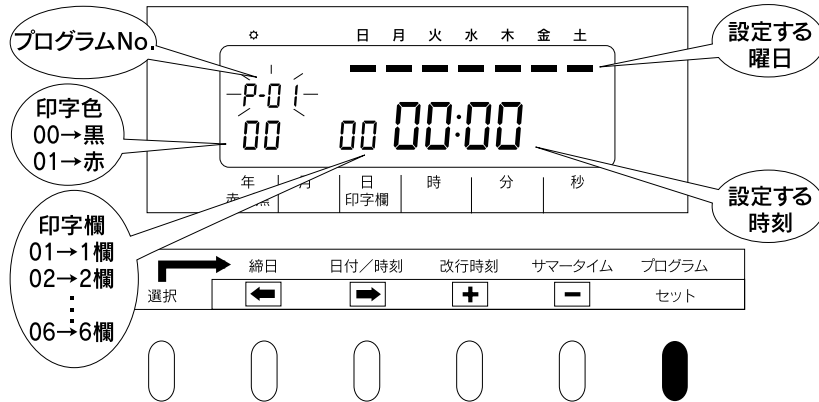
プログラムを設定しない時間帯は、印字の色は黒で1欄目に印字します。

	プログラムNo.	曜日	時刻	印字の色	印字の欄
①	P-01	月～金	09:00	赤	2欄
②	P-02	月～金	17:00	黒	4欄
③	P-03	土	09:00	赤	2欄
④	P-04	土	12:00	黒	4欄

■プログラムは32個 (P-32) まで設定できます。

それではこの例にしたがって設定の手順を説明します。

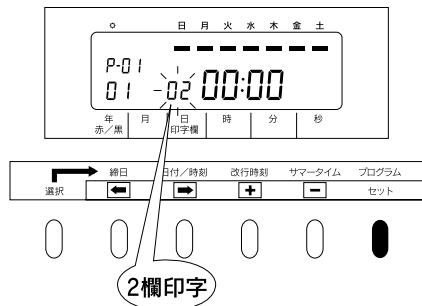
- 1 パネルカバーを外して選択ボタンを押して、プログラムボタンを点灯させてください。デジタル表示部は図のようになり、左側にプログラムNo.が表示され点滅します。“P-01”はプログラムNo.1を表します。



- 2 プログラム表のP-01の内容を設定します。

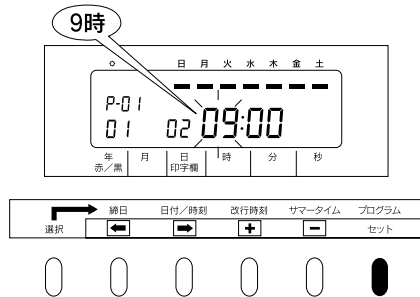
(1) 印字の色を設定

“P-01”が点滅している状態で ボタンを1回押すと左下の印字色の表示が点滅します。
「00」は黒を表します。ここで ボタンを押して「01」に数字を変更して赤印字を設定します。



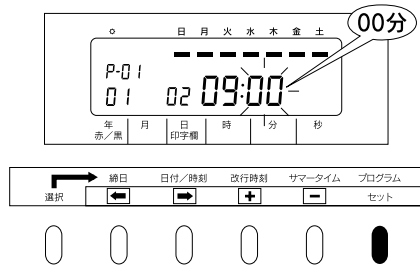
(2) 印字欄の設定

次に ボタンを1回押すと印字欄が点滅します。ここで ボタンを押して「02」に数字を変更して2欄印字を設定します。

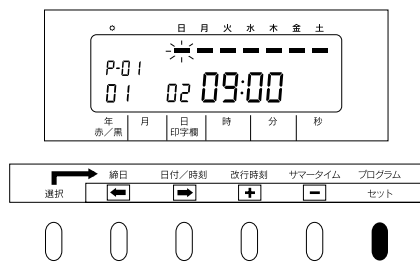


(3) プログラムの時刻の設定

次に **▶** ボタンを押すと時刻「00 : 00」の“時”「00」が点滅します。ここで **+** ボタンを押して「09」に数字を変更して9時を設定します。



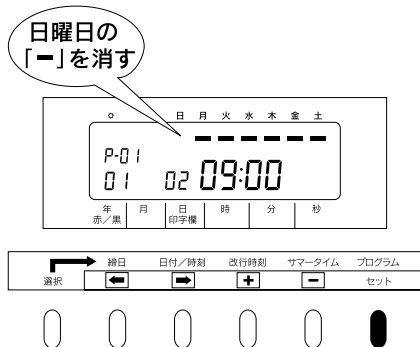
次に **▶** ボタンを押すと時刻の“分”「00」が点滅します。設定したい時刻は9時00分なのでここでは数字を変更しません。



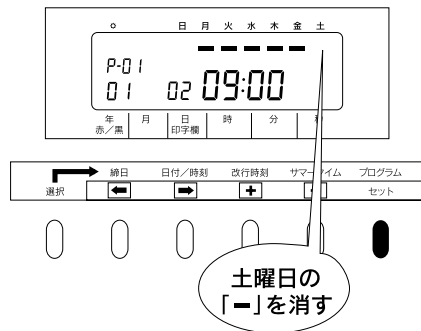
(4) プログラムの曜日の設定

次に **▶** ボタンを押すと“日曜日”の下のバー「**■**」が点滅します。

曜日の工場出荷時の初期状態は日～土曜日のすべてが設定されていますので、例えば“月～金曜日”を設定する場合は“土、日曜日”の曜日バー「**■**」を取り消す設定をします。



P-01では“月～金曜日”の設定なので“日曜日”の下のバー「**■**」が点滅している状態で、**■** ボタンを1回押して「**■**」を消します。

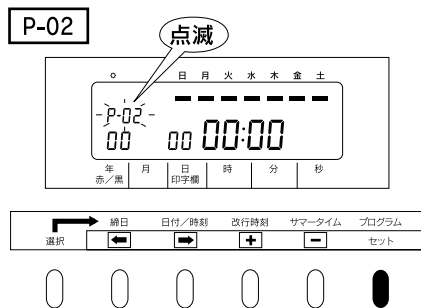


次に **[→]** ボタンを押して“土曜日”の下のバー「-」を点滅させ、**[←]** ボタンを押して「-」を消します。
 (この後は“日曜日”の「-」が点滅している状態になります。)



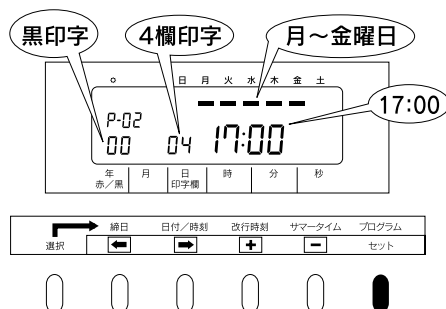
この状態で**セット**ボタンを押してください。これにより「ピッピー」と音がしてP-01のプログラムの設定が完了しました。

曜日を点灯させないとプログラムが動作しませんのでご注意ください。



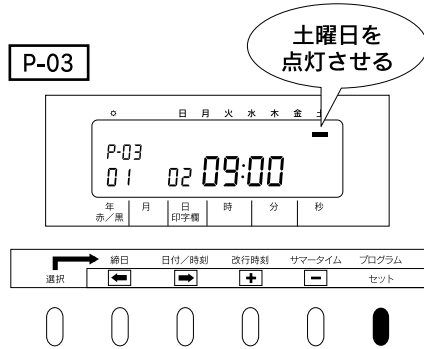
3 次にプログラム表のP-02の内容を設定します。

P-01を設定したあと **[+]** ボタンを押すと表示の左上の「P-01」が点滅します。ここで再度 **[+]** ボタンを押して「P-02」を点滅させてください。

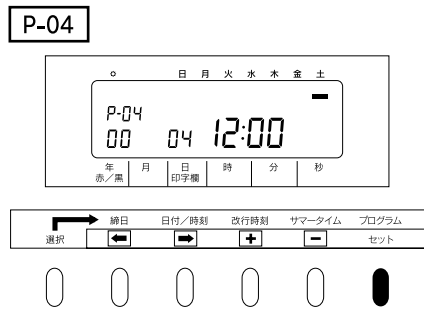


P-01のときと同じように左図のように合わせたら**セット**ボタンを押してください。これによりP-02のプログラムが設定できました。

P-03に移るときはP-01→P-02と同様に **[+]** ボタンを押して表示の左上を「P-02」の点滅状態にし、再度 **[+]** ボタンを押して「P-03」を点滅させてください。



4 プログラム表のP-03の内容を設定します。左図のように合わせたら**セット**ボタンを押してください。



5 プログラム表のP-04の内容を設定します。左図のように合わせたら**セット**ボタンを押してください。

以上のような方法でご希望のプログラムを設定してください。

プログラムの内容を確認するには

選択 ボタンを押してプログラムボタンを点灯させ、プログラムNo.を点滅させます。
次に **+** ボタンを押すごとにP-01から順番にプログラム内容が表示されます。
なお、設定したプログラムは日曜日から、また、改行時刻から順番に表示されます。設定時は順不同に任意の曜日、時刻からもセットできます。

プログラム内容を変更するには

選択 ボタンを押してプログラムボタンを点灯させ、表示の変更したいプログラムNo.を点滅させます。設定したときと同様に **←**、**→**、**+**、**-** ボタンを押してそのプログラムを設定しなおしてください。

プログラムを消すには

選択 ボタンを押してプログラムボタンを点灯させ、プログラムNo.を点滅させます。
次に **+** ボタンを押すごとにP-01から順番に表示されますので、消したいプログラムNo.の表示に合わせてください。ここで「印字欄」表示の部分を「00」に合わせて **セット** ボタンを押すと、このプログラムは消されます。
例:P-04のプログラムを消します。下図のように「印字欄」を「00」としセットします。

P-04のプログラムを消す場合

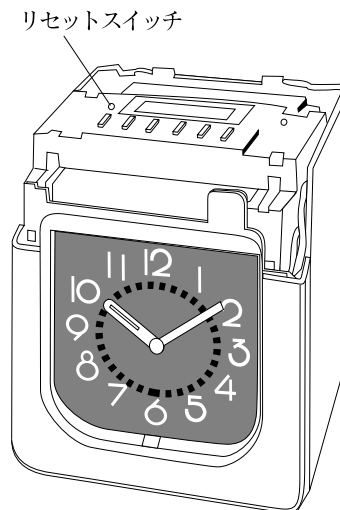
印字欄を「00」にする

年 赤/黒	月	日 印字欄	時	分	秒
----------	---	----------	---	---	---

選択	←	→	+	-	セット
----	---	---	---	---	-----

リセットについて

すべての設定を初期の状態(工場出荷時の状態)に戻したいときには、先の細いものでリセットスイッチを押してください。



リセットすることにより、お客様が設定した内容は消えてしまいます(初期の状態に戻ります)ので注意してください。
設定をしない場合は「設定のしかた」をご参照ください。

6. こんなときには

エラー番号が表示されたら

以下を参照して正しい操作を行ってください。

番号	エラー内容	対策
E-03	挿入したタイムカードの裏表が間違っています。	タイムカードの裏表を反対にして挿入してください。
E-05	タイムカードを正しく引き込むことができません。	タイムカードを挿入し直してください。
E-30	印字ができません。 プリンタのモータ、またはホームポジションセンサーに異常があります。	
E-33	リボンの赤黒切替ができません。	パネルカバーを開けて次のことを確認してください。 ・タイムカードがハマっていないかどうか。 ・リボンカセットがきちんとセットされているかどうか。
E-37	タイムカードを正しく引き込むことができません。 タイムカードを送るモータ、またはセンサが正しく動きません。	確認が済みましたら、パネルカバーを閉じてください。 それでもエラー番号が表示される場合は、販売店にご連絡ください。
E-38	印字ができません。 プリンタのヘッドのモータ、またはセンサが正しく動きません。	

故障かなと思ったら

● 全く動作しない

電源コードはコンセントに正しく差し込んでありますか？

● 印字しない

リボンは正しくセットされていますか？

● 印字位置が合わない

締め、改行時刻はあっていますか？

タイムカードが折れたり、曲がったりしていませんか？

回復しない場合にはご購入の販売店へご連絡ください。

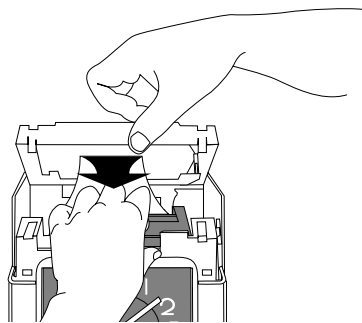
7. リボンの交換

リボンの交換方法

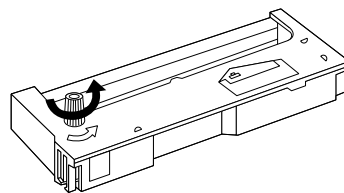
タイムカードに印字される文字がうすくなった場合は、リボンカセットを交換してください。あらかじめ装着されているリボンカセットは工場出荷時の機能検査用(モニタ印字リボン)です。ご使用時一部うすく印字される場合がありますのでご了承ください。

- 1 パネル開閉ボタンを左右2カ所押しながらパネルカバーを奥側へ持ち上げ、パネルカバーを外します。

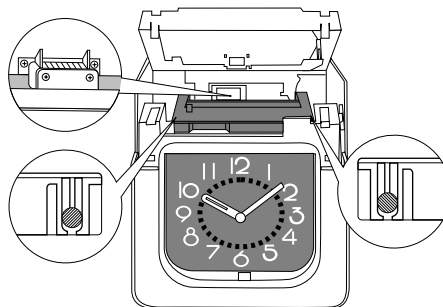
- 2 パネルハウスを持ち上げて、リボンカセットの奥を上を持ち上げるようにして取り出します。



- 3 新しいリボンカセットのツマミを矢印方向に回して、リボンのたるみをとります。



- 4 リボンをプリントヘッドの先端部に引っ掛け、リボンカセットの下側のツメを図のようにタイムレコーダの突起部に入れて、パチンと音がするまで押し込みます。リボンが入れづらいときには、ツマミをまわしながら入れてください。



次項の「リボン交換時のご注意」を必ずお読みください。

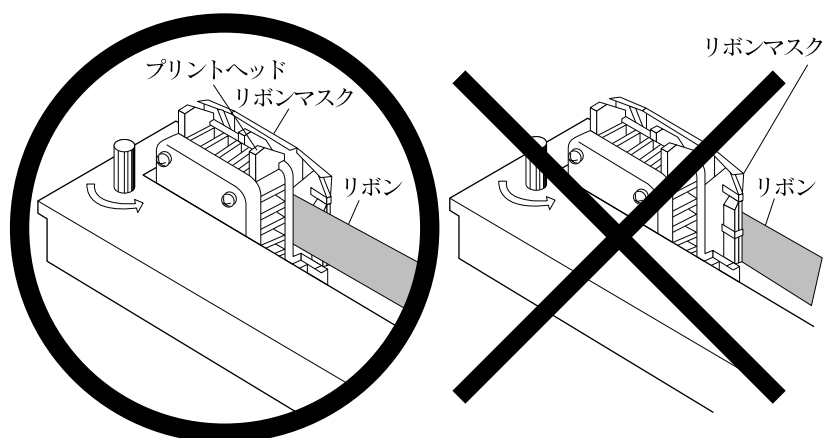
- 5 リボンカセットのツマミを矢印方向に回し、リボンのたるみをとります。

- 6 パネルカバーを取り付けます。

リボン交換時のご注意

新しいリボンカセットを入れるときには、次のことに注意してください。

下図のようにリボンが、プリントヘッドとリボンマスクの間に入るようにリボンカセットを入れてください。(左側の図)
リボンのリボンマスクの奥側にいれてしまうと、正常に印字できません。(右側の図)



8.仕様一覧

時計精度	月差±15秒以内(常温)
カレンダー機能	1997~2096年 閏年、大小月、曜日は自動判定
印字方式	ドットインパクト方式
カード機構	自動引き込み・排出、表裏自動判別
タイムカード	SEIKO Cカード(両面6欄)
メモリー保持機能	工場出荷時より停電累計時間5年間
プログラム	黒印字／赤印字の自動切替、印字欄の自動切替
使用環境	温度:-5~45℃ 湿度:20~80%Rh 結露なし 温度が5℃以下の場合には正常に動作しますが、印字濃度、液晶表示の反応は通常使用時に比べて劣ります。
外形寸法	幅200×高さ257×奥行き151mm
質量	約2.5kg
消費電力	通常0.8W、最大8W

タイムカードは指定のCカードをご使用ください。特に折りたたみ方式などの特殊カードを使用しますと、機能障害が生じることがあります。

9.別売付属品および消耗品

あらかじめ日付が印刷されたカードもあります。
締日に合わせてご利用ください。

●タイムカード

締日	日付なし	20日締	25日締	31日締
カード名	C	C-20	C-25	C-31

C-31は15日締めにも、締日の設定を“31”にしてカードの裏面(赤い面)よりご利用いただけます。

●リボンカセット

QR-550用リボンカセット(黒赤2色)

●カードラック

CR-15 : 15人用
CR-30 : 30人用
CR-50 : 50人用